

スミソニアン・ハーシホーン美術館所蔵

西洋近代彫刻の巨匠展

Exhibition organized by the Hirshhorn Museum and Sculpture Garden,
Smithsonian Institution, Washington, D.C., USA



アルベルト・ジャコメッティ「ディエゴの胸像」

1995.11/10、12/10
FRI SUN

高松市美術館

〒760 高松市紺屋町10-4 Tel.(0878)23-1711

The Human Figure Interpreted

Modern Sculpture from
the Hirshhorn Museum

トガ ロダン マテニス アーキーペンコ リブシッツ ジャコモメッティ ムーア マリーニ

開館時間) 午前9時~午後5時(入室は午後4時30分まで) 初日は午前10時より開会式

毎週金曜日は午後7時まで開館(入室は午後6時30分まで) 月曜日休館

入場料) 一般900円・高大生600円・小中生300円

(一般前売りおよび団体20名様以上は2割引)

主催/高松市美術館・読売新聞大阪本社・西日本放送・美術館連絡協議会
後援/外務省文化庁アメリカ大使館協賛/花王株式会社協力/日本航空

THE HUMAN FIGURE

Interpreted: Modern Sculpture from the Hirshhorn Museum

アメリカのワシントンにあるハーシュホーン美術館は、スミソニアン協会に所属する美術館のひとつで、19世紀末から今日までのヨーロッパおよびアメリカ美術のすぐれた所蔵品で知られています。今回、その中でも特に充実している彫刻のコレクションより、人体を主題とした約70点の作品を紹介することになりました。

古典主義にもとづく伝統的な主題や様式が支配的であった人体像は、19世紀末になると、写実性を越えた新しい表現へと向かうこととなります。20世紀前半、抽象美術の発展とともに様々な形態上の可能性が切り拓かれ、第2次大戦後は、そのような様式をとりつつ再び彫刻に意味を込めるような動きが出てきました。この展覧会では、彫刻におけるこうした人体表現の展開を、エドガー・ドガ、オーギュスト・ロダン、アンリ・マティス、アレキサンダー・アーケンボ、ジャック・リブシツ、アルベルト・ジャコメッティ、ヘンリー・ムーア、マリノ・マリニーという近代彫刻を代表する8名の巨匠の作品によって展覧いたします。

人体に対するアプローチやその表現の方法は作家によって実に様々ですが、彼らは皆、従来の再現描写的な様式から離れ、新しい美学と表現の可能性を探究したことで共通しています。それらの作品は西洋近代彫刻の豊かな達成を示すと同時に、彼らが生きた近代という時代の姿をも映し出してくるでしょう。

アレキサンダー・アーケンボ
「ゴンドラの船頭」



ヘンリー・ムーア
「母と子」



マリノ・マリニー
「奇跡：後ろ足で立つ馬と騎手」



エドガー・ドガ
「腰に両手をあて、右足を前にして休む踊り子」



アンリ・マティス
「ジャンネットの頭部IV」



オーギュスト・ロダン
「うずくまる女(小)」



ジャック・リブシツ
「頭部」

「断片の皮膚—人体表現のモダニズム—」

講演会
講師 谷川渥 (たにかわ あつし/国学院大学教授、美学)
11月19日(日)午後1時30分より
高松市美術館1階講堂にて 入場料無料 先着200名様

催し物
山田せつ子ダンス公演
「森一月ノ蜜ヲ採ル」
11月16日(木)午後7時開演

次回展覧会
瀬戸内海絵画写真真展
12月15日(金)~12月24日(日)